

競技申し合わせ事項

組合せ及びシードの決定について

- 1 シードチームは12チームとする。それら12チームを、前府大会においてベスト8入りしたチーム（Aシード）とそうでないチーム（Bシード）とに分ける。
- 2 府大会において、ベスト8以上に進出したチームは、上位より優先順位を置くものとする。シードチームが下位のチームに敗退した場合、シード順位を入れ替える。

◎京都府高等学校総合体育大会バレーボール競技の部（京都総体）

競技方法 8ブロックのトーナメント戦を実施する。

ブロックごとに1・2位を表彰する。

日本バレーボール協会制定6人制競技規則に則って実施する。

※京都府高体連が指定する第3土曜日を含む土曜日曜に各ブロックの準決勝・決勝を実施する。

◎全国高等学校総合体育大会バレーボール競技の部（インターハイ）

京都府予選会 兼 国スポ京都府予選会 兼 近畿大会京都府予選会

◎JVA 全日本バレーボール高等学校選手権大会京都府代表決定戦

◎京都府高等学校バレーボール新人選手権大会

上記3大会とも南部予選会を実施する。

【南部予選会】

競技方法 予選リーグ戦を実施する。

予選リーグ戦の各ゾーンの上位2チームにより府大会出場決定戦を実施する。

1 予選リーグ戦

前府大会の結果から、ベスト 8 に残ったチームのゾーンを A シードゾーン、それ以外を B シードゾーンとするリーグ戦を実施する。(基本は 1 2 ゾーン) ※1 参照

第 1 シードを含むゾーンを A、第 2 シードを含むゾーンを B、・・・以下同様にして第 1 2 シードを含むゾーンを L とする。(ただし、府大会において順位決定がなされていない場合は、当該チームを同等として扱い、便宜上抽選によりゾーンを決定する)。

ネットの高さは男子 2 4 0 cm、女子 2 2 0 cm とする。

2 府大会出場決定戦

各予選リーグ戦の 1 位チームと 2 位チームが対戦する。2 位チームを抽選により、いずれかのゾーンに組み入れる。

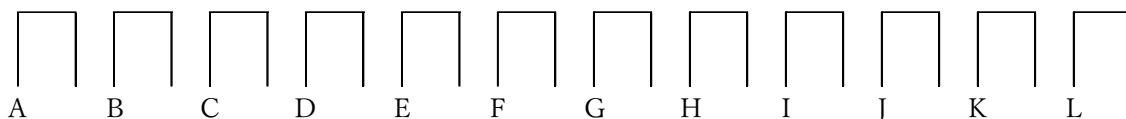
ネットの高さは男子 2 4 0 cm、女子 2 2 0 cm とする。

* 新人選手権大会については、JVA 全日本高校選手権に南部チームが京都府代表として出場した場合、そのチームは南部予選を免除し(予選を 1 ゾーン減じて実施)、府大会からの出場とする。ただし、該当チームが出場を希望すれば、南部予選の参加を認める。

※1 《予選リーグ戦の実施方法について》

① 参加チームが、3 6 チーム以上 4 8 チーム以内の場合 → 1 2 ゾーン (A~L) で予選リーグ戦を行う。

南部予選のドロー表



* アルファベットの位置には、各予選リーグ戦の 1 位が入ります。

* 空白の所に、予選リーグ戦の 2 位チームを抽選で入れます。

② 参加チームが 3 6 チームを下回った場合 → A ゾーンから予選を免除し下位ゾーン (L ゾーン) から 4 チームとして上位 3 チームを京都南部予選会に出場させる。

* この場合南部予選のドロー表は①の場合と同じ。

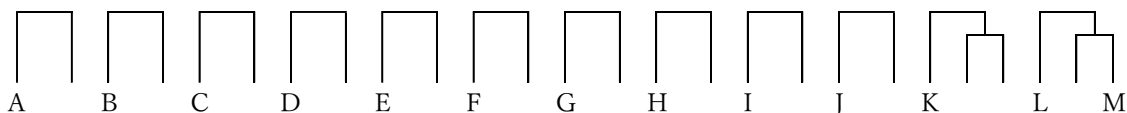
* 京都南部予選会抽選会において下位ゾーン (4 チームゾーン) の 2 位、3 位の順位付けはしない。

③ 参加チームが、48 チームを超えた場合 → 参加チーム数によって下記のようにゾーンを増やして予選リーグ戦を行う。

参加チーム数	ゾーン数	
49～52	13ゾーン (A～M)	Mゾーンは、フリー抽選
53～56	14ゾーン (A～N)	M・Nゾーンはフリー抽選
57～60	15ゾーン (A～O)	M・N・Oゾーンはフリー抽選
61～64	16ゾーン (A～P)	M・N・O・Pゾーンはフリー抽選
⋮	⋮	

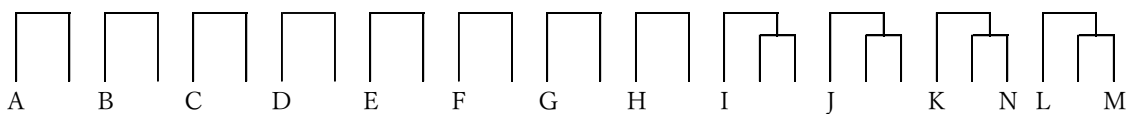
南部予選のドロー表

《チーム数49～52 (A～Mゾーン) の場合》



- * アルファベットの位置には、各予選リーグ戦の1位が入ります。
- * 空白の所に、予選リーグ戦の2位チームを抽選でいれます。(13チーム存在します)
- * 試合数は、14試合。
- * Mゾーン以降のゾーンには、シード校は存在しないので、Lゾーンの1位だけが他のシードチームと対戦するようなことにはなりません。

《チーム数53～56 (A～Nゾーン) の場合》



- * アルファベットの位置には、各予選リーグ戦の1位が入ります。
- * 空白の所に、予選リーグ戦の2位チームを抽選でいれます。(14チーム存在します)
- * 試合数は、16試合。
- * 以下、1ゾーン増えるごとに南部予選の試合数は2試合増えます。

3 府大会

競技方法 トーナメント方式（南部12チーム、北部4チーム）

全国高校総体予選と新人選手権においては3位決定戦を実施するが、全日本高校選手権予選においては3位決定戦を実施しない。

JVA 全日本高校選手権京都府代表決定戦決勝戦は、5セットマッチとする。

ネットの高さは男子243cm、女子224cmとする。

全国高校総体京都府予選会の優勝チームは全国高校総体、また上位8チームは近畿大会に出場する権利と義務を獲得する。

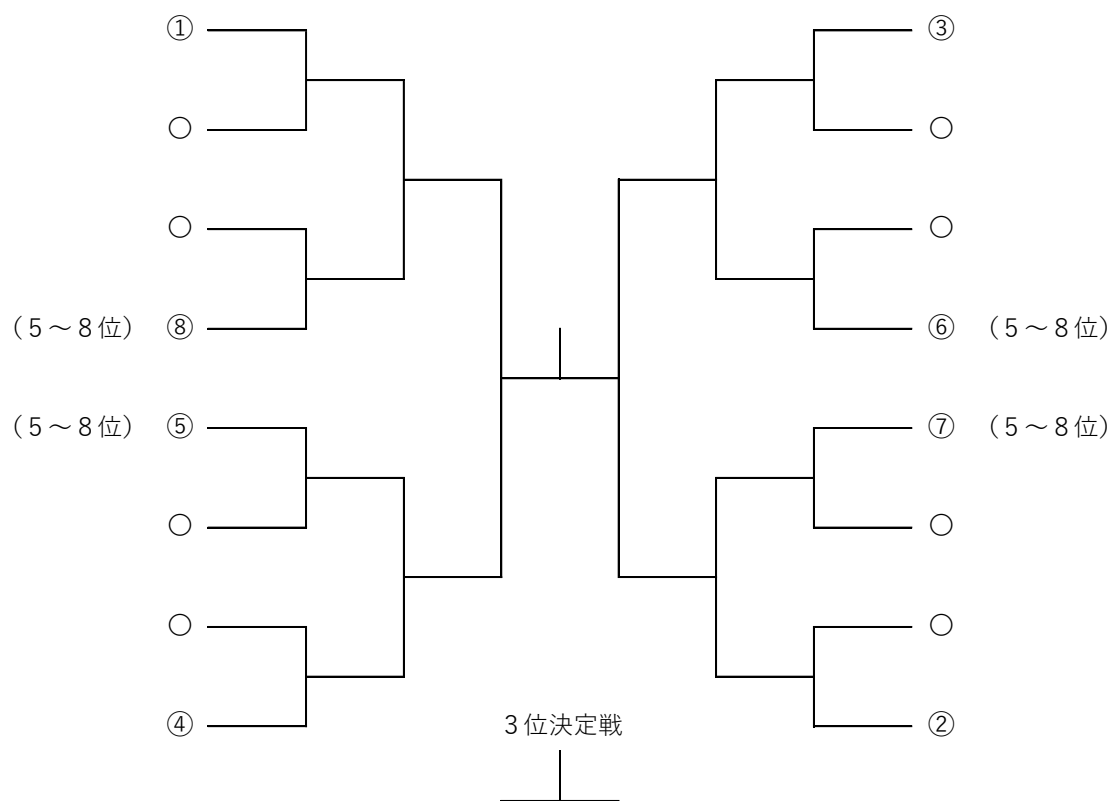
全日本高校選手権京都府代表決定戦の優勝チームは、全日本高校選手権に出場する権利と義務を獲得する。

①～⑧は、前府大会のベスト8の順位枠を南北チームが引き継ぐ。

順位決定がなされていない場合の③～④、および⑤～⑧の枠は抽選により組み入れる。

前府大会でベスト8に残らなかった北部チーム、および南部Bシードチームは○印の場所に抽選で組み入れる。

《府大会トーナメント表》



- * 全国高校総体都府予選会と新人選手権においては、2回戦までを第1日目で実施する。
- * JVA 全日本高校選手権京都府代表決定戦においては、1回戦のみを第1日目で実施する。準決勝戦までを第2日目に行い、決勝戦のみ別日程で実施する。

本部会が主催（主管）する大会とその正式名称

（ ） 内は通称

- 1 京都府高等学校総合体育大会バレーボール競技の部（京都総体）
- 2 全国高等学校総合体育大会バレーボール競技の部
兼 国民スポーツ大会バレーボール競技少年男女の部（国スポ）京都府予選会
兼 近畿高等学校バレーボール選手権大会京都府予選会
- 3 JVA 全日本バレーボール高等学校選手権大会京都府代表決定戦
- 4 京都府高等学校バレーボール新人選手権大会

（注）本部会が主催する大会で、京都総体に限り特別ルールで競技大会を運営するが、その実施要領は別に送付する。

大会使用球について

	京都総体・インターハイ（府予選）・ 高校選手権（府予選）		新人選手権（府大会）	
	男子	女子	男子	女子
令和7年度	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
令和8年度	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
令和9年度	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
令和10年度	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
令和11年度	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン

↓

↓

↓

↓